

公益財団法人日本国際教育支援協会「2025年度生命保険協会留学生奨学金（セイホスカラーシップ）」の募集

2024. 11. 8

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) アジア諸国及び地域（インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス）の国籍を有する私費外国人留学生（在留資格「留学」）。
- 2) 2025年4月に、学部正規課程3年または、大学院修士課程（博士課程前期）1年に在籍する者。
- 3) 2025年度に他奨学金からの受給合計が月額50,000円以下である者。
- 4) 学業・人物ともに優秀であり、かつ健康である者。
- 5) 金融業界、特に生命保険に関心のある者（在籍する大学での専攻分野は問わない）。
- 6) 日本語でコミュニケーションが可能な者。

Japanese ability especially in reading and writing is required to apply.

2 奨学金の金額・期間

月額10万円 2025年4月から2027年3月までの2年間

3 推薦人数 工学部・工学研究科から2名（1ヶ国につき1名）

4 提出書類（すべてデータをメールで提出）

- 1) 願書（所定エクセル様式、写真データ貼付、日本語で作成すること）
- 2) 学部以降直近までの成績証明書（PDFファイル）
※ 日本語以外で記載されたものは和訳を添付すること
- 3) 在学証明書（4月に修士課程進学のものとは合格を証明する書類、PDFファイル）
- 4) 在留カードの写し（両面、PDFファイル）
- 5) 経済状況調書（所定エクセル様式）
- 6) 民間奨学金申請時の心得（PDFファイル）
- 7) 私費外国人留学生身上調書（所定様式、PDFファイル）
- 8) 家計状況申告書（所定様式、PDFファイル）
- 9) 推薦書（所定エクセル様式）

※ 9) は、工学部・工学研究科から推薦が決まったら提出。

※ 7および8)は、2024年10月以降に、他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。

5 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係にメールで提出 eng-mon@grp.tohoku.ac.jp

6 締切日 2024年11月27日（水）

既に2025年度に他の併給不可の奨学金について受給が決定している者および申請中（直接応募含む）の者は選考対象外です。

令和7年度 生命保険協会留学生奨学金 (セイホスカラーシップ) 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という)では、一般社団法人生命保険協会のご支援により、「生命保険協会留学生奨学金」(以下「本奨学金」という)の令和7年度奨学生を、下記により募集する。

記

1 目的

アジア諸国及び地域等からの私費留学生に対して奨学金を支給し、日本での勉学への支援を通じて、日本と出身国との相互理解と友好・親善の増進に寄与することを目的とする。

2 本奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である一般社団法人生命保険協会(以下「寄付者」という)は、設立80周年記念事業の一環として奨学金制度を設立し、平成2年度から平成23年度まで経団連国際教育交流財団を通じ339名の留学生に奨学金を支給したが、平成24年度中に経団連国際教育交流財団よりこの奨学金制度が寄付者へ返還されることとなり、留学生への支援を継続するため、新たな奨学金制度の設立を目的として本協会に資金を提供された。

3 応募資格

次の各号の全てに該当する者

- (1) 下記のアジア諸国及び地域の国籍を有し、令和7年4月に本協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という)の学士課程、修士(博士前期)課程、専門職学位課程(大学院)又は一貫制博士課程のうち、以下に定める学年に在籍する私費外国人留学生。日本に在留する間の在留資格は『留学』とする。

<対象としている国と地域>

インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール・スリランカ・タイ・台湾・中国・ネパール・パキスタン・バングラデシュ・東ティモール・フィリピン・ブータン・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・モルディブ・モンゴル・ラオス

学士課程	:3年次
修士(博士前期)課程	:1年次
専門職学位課程(大学院)	:1年次
一貫制博士課程	:1年次

- (2) 本奨学金の受給期間中、日本国以外に留学する予定がなく、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等の受給額合計が年額600,000円(月額50,000円相当)以下である者。

[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除は除く]

- (3) 学業・人物ともに優秀であり、かつ学業に支障のない健康状態とみなされる者。
(4) 留学の目的又は計画が明確で、修学の効果が期待できる者。
(5) 日本語(英語の併用も可)による意思伝達が可能な者。
(6) 金融業界、特に生命保険に関心のある者(在籍する大学での専攻分野は問わない)。
(7) 経済的援助を真に必要とする者。
(8) 令和7年4月に在籍する大学の長の推薦を受けることができる者。

4 支給人数

8名程度

5 支給内容

月額奨学金 100,000円

6 支給期間

令和7年4月から令和9年3月まで

7 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数については別途依頼文で示す。

8 応募・推薦書類及び提出方法

	提出物	提出方法	ファイル形式	備考
(1)	願書(様式1)	クラウドストレージサービスBoxの指定URLへアップロード(※1)	Excel	日本語で書かれたものに限る。
(2)	推薦書(様式2)		Excel	推薦理由は、指導教官等が記入すること。 成績評価係数(※2)を記入すること。 日本語以外で記載されたものについては和訳を添付すること。
(3)	学業成績証明書		PDF	令和5年度及び令和6年度前期までのもの。日本語以外で記載されたものについては和訳を添付すること。証明書を発行した学校が推薦する学校と異なる場合及び証明書が提出できない場合は、「推薦書(様式2)」の所定欄に必要な事項を記入すること。

※1.提出方法の詳細については別紙にて案内。

※2.成績評価係数算出方法(小数点第3位を四捨五入)

提出する学業成績証明書(令和5年度及び令和6年度前期分)の成績について、下表により[成績評価ポイント]を算出し、計算式に当てはめて計算

	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価(パターン1)					
4段階評価(パターン2)	A	B	C	F	
4段階評価(パターン3)	100~80点	79~70点	69~60点	59点~	
5段階評価(パターン4)	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59点~
5段階評価(パターン5)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン6)	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

「計算式」

$$([\text{評価ポイント3の単位数}] \times 3) + ([\text{評価ポイント2の単位数}] \times 2) + ([\text{評価ポイント1の単位数}] \times 1) + ([\text{評価ポイント0の単位数}] \times 0)$$

総登録単位数

成績評価係数は選考の際に参考といたしますが、この値をもってのみ奨学金の採否を決定するものではありません。

9 応募・推薦書類の提出期限

令和6年12月13日(金)を提出期限とする。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備がある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は7の(2)により推薦された者について選考を行い、奨学生を決定する。書類選考通過者に対し面接(令和7年2月中旬から下旬頃の予定)を実施し、結果は令和7年3月中を目途に在籍する大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

11 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12 奨学生の義務

- (1) 奨学生は、本奨学金受給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後1か月以内に、所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。
- (2) 奨学生は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (3) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。
- (4) 奨学生は、年1回開催される報告会・懇親会(5月から6月頃に実施の予定)に出席すること。
- (5) 奨学生は、本奨学金受給期間中及び受給終了後、本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答に協力すること。

13 本奨学金の支給の休止又は終了及び決定取消

- (1) 奨学生が長期(1か月以上)欠席した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6に記載した奨学金の支給期間内において奨学金の支給を再開することがある。ただし、6の支給期間は延長しない。
- (2) 奨学生が、次の①から⑤のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、除籍、停学、休学又は留年(相当すると認められる場合も含む)した場合。
 - ② 本奨学金の支給の休止期間が6か月を超えた場合。
 - ③ 本奨学金奨学生の義務を怠った場合。
 - ④ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ⑤ その他奨学生として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

14 その他(注意事項等)

- (1) 奨学生は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13に挙げる事項に該当する場合、既に支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金選考結果通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告すること。また、本奨学金奨学生として採用された場合、他の奨学金を受給することを目的として、本奨学金を辞退することはできない。
- (3) 受給開始から終了まで、受給額合計が年額600,000円を超える給付型奨学金に応募することはできない(ただし、本奨学金の受給終了後に支給を開始する他の奨学金は除く)。
- (4) 過去、本奨学金を受給した者及び本奨学金へ応募し不採用となった者は、再度応募することができない。
- (5) 本協会の奨学金事業における標準修業年限は、原則学士課程4年、修士(博士前期)課程2年、博士(博士後期)課程3年とし、この期間のうち6に挙げる支給期間を支給対象とする。長期履修学生についても、これに相当する期間を支給対象とする。ただし、医学部等この期間を超えて在学が必要な学部・研究科においては、大学の定める標準修業年限のうち6に挙げる支給期間を支給対象とする。

15 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、15(2)①から⑤の目的で寄付者に開示・提供する場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 本奨学金の奨学生選考のため。
- ② 奨学金支給事務のため。
- ③ 奨学金授与式又は報告会・懇親会等の開催及び参加報告等のため。
- ④ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に奨学生本人からの承諾を受けた上で、本協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。

- ⑤ その他、本奨学金の運営・管理に必要な業務のため。
- ⑥ 本協会実施の国際教育支援プログラムの案内や参加の際の連絡手段のため。

(3) 個人情報の共同利用

本協会が、15(2)①から⑤の目的で寄付者と共同利用する個人情報の項目は下記のとおり。

- ① 奨学生募集時に取得する事項
 - ・ 願書に記載された事項
 - ・ 推薦書に記載された事項
 - ・ 学業成績証明書に記載された事項
- ② 奨学金受給期間中の状況確認のために取得する事項
 - ・ 学業成績証明書に記載された事項
 - ・ 学習状況報告書に記載された事項
- ③ 奨学金受給期間中及び奨学金受給終了後の交流継続のために取得する事項
 - ・ 奨学生の就職・進学先、報告会・懇親会時に撮影した写真データ

【個人情報総括保護管理者】

公益財団法人 日本国際教育支援協会
〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
専務理事 池田輝司

【代表者】

理事長代理 池田輝司

16 応募・推薦に関する問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育課
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-13-1 DLXビルディング 12階

※本奨学金に関するお問い合わせは、以下のお問い合わせフォームをご利用ください。

お問い合わせフォームリンク:<https://forms.office.com/r/11egwQ3CKk>

以上

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2024.07.01

1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2024年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学				年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館	
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館	
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町	
	国際交流会館東仙台会館			
	県・市営住宅・民間アパート(住所)	

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2024年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2023年4月から2024年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2023年10月入学の場合は2023年10月から2024年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

年	期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2024	前期					
	後期					
2023	前期					
	後期					
2022	後期					